

9月8日(日)10時~15時30分まで、中難協の理事を務めておられる石川千鶴氏をお招きし、赤羽文化センター第1学習室において、9月例会・「災害から自分と家族を守る防災セミナー」を開催しました。午前の部の防災関連の手話学習会には28名、午後の部の講習会「防災アプリにできること」には20名の方にご参加いただきました。

★午前の部…手話学習の内容★

1. 指文字の練習 (夏に関する単語の指文字と手話表現を練習しました。「玉蜀黍」読めますか?)
2. 災害に関する手話単語 (線状降水帯・洪水ハザードマップ・モバイルバッテリー etc.)
3. 災害に関する手話単語の入った短文の表現練習 (「災害や天災はいつどこで起こるか予測できません」など)



★午後の部…講習会「防災アプリにできること」★

1. モバイルバッテリーの選び方 PSEマークを確認しよう。形状について、防災用品としてしっかりしたものを準備し、毎日持ち運ぶなら小型軽量のものを。名刺サイズのものもある。自分のスマホのバッテリー容量を知り、何回充電したいか考えて選ぶようにしよう。10,000mAhあれば、1~2回充電できる。モバイルバッテリーは永久的ではなく消耗品。2年を目安に買い替えよう。
2. 「00000JAPAN (ファイブゼロジャパン)」 ファイブゼロジャパンとは、災害時に携帯キャリアが垣根を超えて、無料開放する公衆無線LANサービスのこと。パスワードや認証などは必要ないが、セキュリティには充分気をつけよう。
3. Wi-Fiの設定方法 自分でWi-Fiにつなげることができるよう、日ごろから慣れておこう。
4. QRコードを読み取る方法
5. Yahoo!防災アプリのインストールと初期設定 (iPhoneとAndroidでは操作が違うので、個別に教えていただきました。)
6. Yahoo!防災速報アプリのメニュー
7. 防災関連のアプリやサイトについて 北区防災アプリ・東京都防災(アプリ)・NHKニュース・防災(アプリ)・国土交通省ハザードマップポータルサイト 等



★災害が起きたら…災害伝言ダイヤルには声を吹き込んで残すことができる。安否確認はLINEでもできる。ホーム画面にステータスマッセージ、例えば「元気です」と入力しておけば、LINEで繋がっている人が見ることができる。